

東部病院 院内助産

 Rainbow 





当院では院内助産分娩システムを
『Rainbow（レインボー）』と呼んでいます。

Rainbowの由来
子どもは未来の懸け橋であるということから
7色の虹を助産が関わる7つの時期に合わせて・・・

(1) 妊娠初期 (2) 妊娠中期 (3) 妊娠後期
(4) 分娩期 (5) 産褥期 (6) 退院後
(7) そしていつまでも

お母さんと赤ちゃん、その家族を
ずっと支えたいという
意味を込めて名付けました。

Rainbowスタッフは7年目以上のキャリアを持つ
アドバンス助産師で構成されています。



ご妊娠おめでとうございます。

これから大きく変化する未来に喜びと期待とともに少なからず不安を抱いている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

妊娠・出産はその後続く育児のスタート地点です。
そのスタート地点が不安なく楽しくあなたらしいものとなるよう
私たち助産師が全力でサポートいたします。
出産と思うと不安や恐怖に目がいきがちですが、
目線を変えたととても前向きになれるんです。

例えば・・・

筋トレやマラソンって、周りから見ていると大変だしつらそう！
なんであんなつらいことをわざわざ？と思いませんか？
でも実際やっていると筋肉が育っていく喜びを感じたり、
少しずつ長距離が走れるようになる喜びがあります。
その効果を考えるとトレーニングもつらくないそうですよ。





お産も同じです。
考え方を変わるとつらい、いやだというネガティブな感情は消え、
よし！頑張るぞ！乗り越えるぞ！と前向きな気持ちになれます。
そうするとお産の苦痛も軽くなり、楽しくなり、
あかちゃんのかわいさ・愛おしさも強くなって育児も楽しいものとなります。
嘘みたいですよ。でもほんとなんです！

お産を楽しくするのもつらくするのも自分次第！なんです。
先生にお任せ、助産師さんにおまかせ！楽にして！と思っていると逆につらくなる。
私が頑張る！快適なお産にする！
と思うととても楽なお産になります。不思議ですよ。

そんなふうに皆さんが皆さんらしい前向きなお産ができるよう
私たち助産師がお手伝いいたします。
ぜひ、あなたらしいお産、してみませんか？！





No Rain No rainbow

「雨が降らなければ虹は出ない。
雨という試練があってこそ、美しい虹を見ることができる」

これから良いことがきっと起きるよ、そのための雨なんだ
そんな意味が含まれています。

時にはつらい思いをしたり、涙を流したりすることはあっても、
その後には、きれいな虹が出る。
努力したらきっといい結果が出るから
その言葉を信じて一生懸命に
頑張ってください！

No rain No rainbow
～あなたらしいお産を支えます～

<http://www.annaka.ed.jp/>



院内助産とは



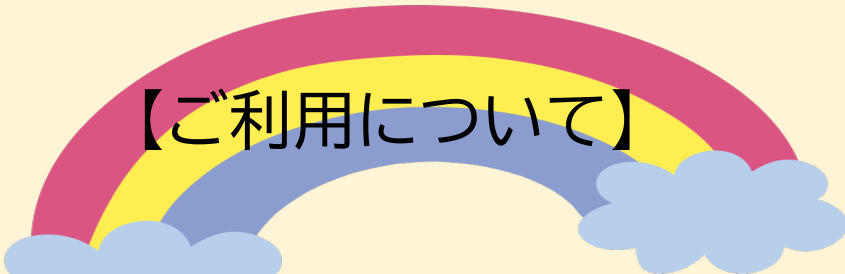
病院にありながらも、助産院での自然でアットホームな良さを取り入れた分娩システムです。

妊婦さんが主体となり、自然な流れに沿った分娩が行えるよう助産師がお手伝いさせていただきます。また、妊婦さんやその家族の意向を尊重し、安全で快適な妊娠・分娩・産後が送れるように助産師がサポートしていきます。

法律に基づき、正常な妊娠・分娩・産褥経過であれば、助産師の責任において診察・ケアが行うことができます。

助産師ができる医療行為には制限があるため、制限外の医療行為の必要があると判断した場合は、医師に処置を依頼します。

会陰切開や会陰裂傷後の縫合など、分娩時に医師の立ち会いはありませんが、医療介入が必要となった場合は、24時間すぐに医師と連携が取れる体制を整えています。



【ご利用について】

出産するのは、妊婦さん御自身です。
自分らしい出産やより自然で安全な出産をするためにも、
ご自身の健康管理が大切です。
妊娠中は決められた週数で、医師の診察や超音波検査を受けて
頂きます。

院内助産を希望され、経過中に医師の診察が必要と判断した場合には、
医師の健診を受けて頂きます。また、院内助産の健診の中で、助産師が医師の
診察が必要と判断した場合は、医師の健診へ変更させて頂く場合もあります。

院内助産について、妊婦さんご本人およびご家族が十分にご理解・ご納得され
た上で、希望して頂きますようお願い致します。

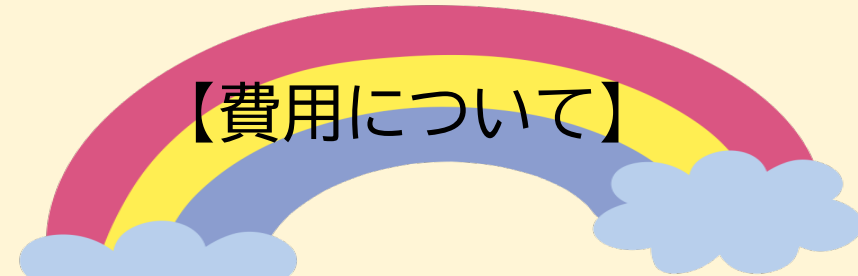
他院で妊婦健診を受けられる方は、**24週頃までに**当院に戻ってきてくださる
ようお願い致します。





【ご利用について】

院内助産を希望された後でも、いつでも医師の健診や
医師立ち会い分娩に変更できます。
ご希望がある場合は、いつでもお申し出下さい。



【費用について】

妊婦健診・分娩費用ともに、医師の健診・分娩と同額となります。
平日・土曜日ともに同額です。
妊婦健診で補助券をお使い頂けます。

【院内助産での助産師のケア内容】



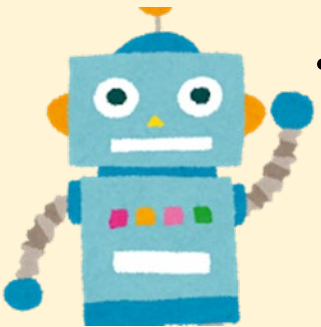
<妊娠期 24週以降>

- ・ 助産外来にて妊婦健診を行います。

時間： お一人45分以内

内容： 尿検査、採血→血圧・体重測定→診察(エコーなど)→保健指導

- ・ お産に向けての「からだづくり」のための冷え対策・食事・運動などについて、妊婦さんひとりひとりに合った方法を一緒に考えていきます。
- ・ 作成したバースプランは可能な限り実現できるようアドバイスし助産師も共有します。
- ・ 健診を担当する助産師は毎回同じではありませんが、情報共有を行っています。



<分娩期>

- ・ ご希望に沿った分娩ができるように、ご本人やご家族と話し合いながらケアを行っていきます。
- ・ 分娩の進行状況の観察や胎児心拍の観察を行います。
- ・ リラックスした環境づくりを行います。
- ・ 楽な姿勢や痛みを和らげられるようなお手伝いをさせていただきます。
- ・ 分娩の介助は、助産師が行います。助産師は交代しながらケアをします。



＊基本的には院内助産室へご案内し、院内助産を担当するスタッフが対応します。

ただし、ご本人の状態や他の患者さんの状況に応じて、ご案内する部屋や担当するスタッフが変更となる事があります。



【院内助産での助産師のケア内容】



<産褥期>

- その日の院内助産を担当するスタッフが授乳介助や赤ちゃんのお世話をさせていただきます。
- 退院後の生活と母乳育児についてイメージができるよう母児同室となっています。お部屋は院内助産を利用していない方と一緒にになります。
- 退院診察は、助産師が行い、必要に応じて医師に相談します。
- 入院中の赤ちゃんの診察は、新生児科医が行います。

<退院後>

- 退院後は、電話訪問や外来受診の希望を確認しフォローさせていただきます。
- 1ヶ月健診での診察は、助産師が行い、必要に応じて医師に相談します。
- 赤ちゃんの1ヶ月健診は、新生児科医が行います。



Rainbowの魅力その①

妊婦健診は完全予約制のため待ち時間は少なく、助産師とゆっくりお話しができます。（1人45分間）

土曜日外来の予約も受け付けています。



Rainbow外来の様子



どなたと一緒にいらして頂いても かまいません
上のお子さまと大人は1名でお願いしています

Rainbowの魅力その②

妊婦健診からお産の介助、産後の診察
や育児相談まで助産師が継続して
サポートします。

助産師と顔見知りになれるので
リラックスして診察やお産に臨むこと
ができます。



Rainbowの魅力その③

24時間いつでも産科医・新生児科医が常駐しています。

異常が起こった場合は医師と連携してすぐに必要な処置や対応ができる安心感があります。



Rainbowの魅力その④

パパときょうだいの立ち会い出産

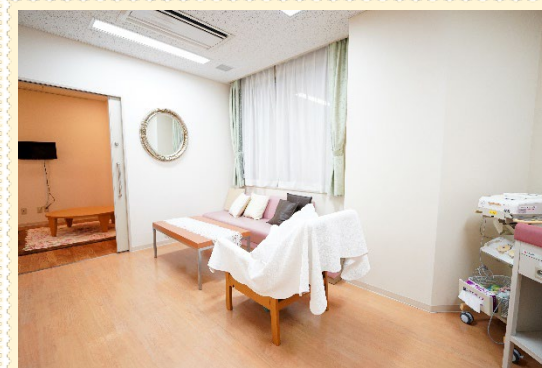


院内助産は
上のお子さんの
立ち合いも可能です

Rainbowの産室



Rainbowの前室



出産時にパパや上のお子さんと一緒に過ごすことはママがリラックスできるとともに赤ちゃんの誕生の喜びを分かち合う大切な時間となります。





**2025年3月までに、500名の方が
院内助産で分娩されました！！**

**医師外来も Rainbow も
お母さんと赤ちゃんの安全を第一に
ケアに取り組んでいます**



Q&A

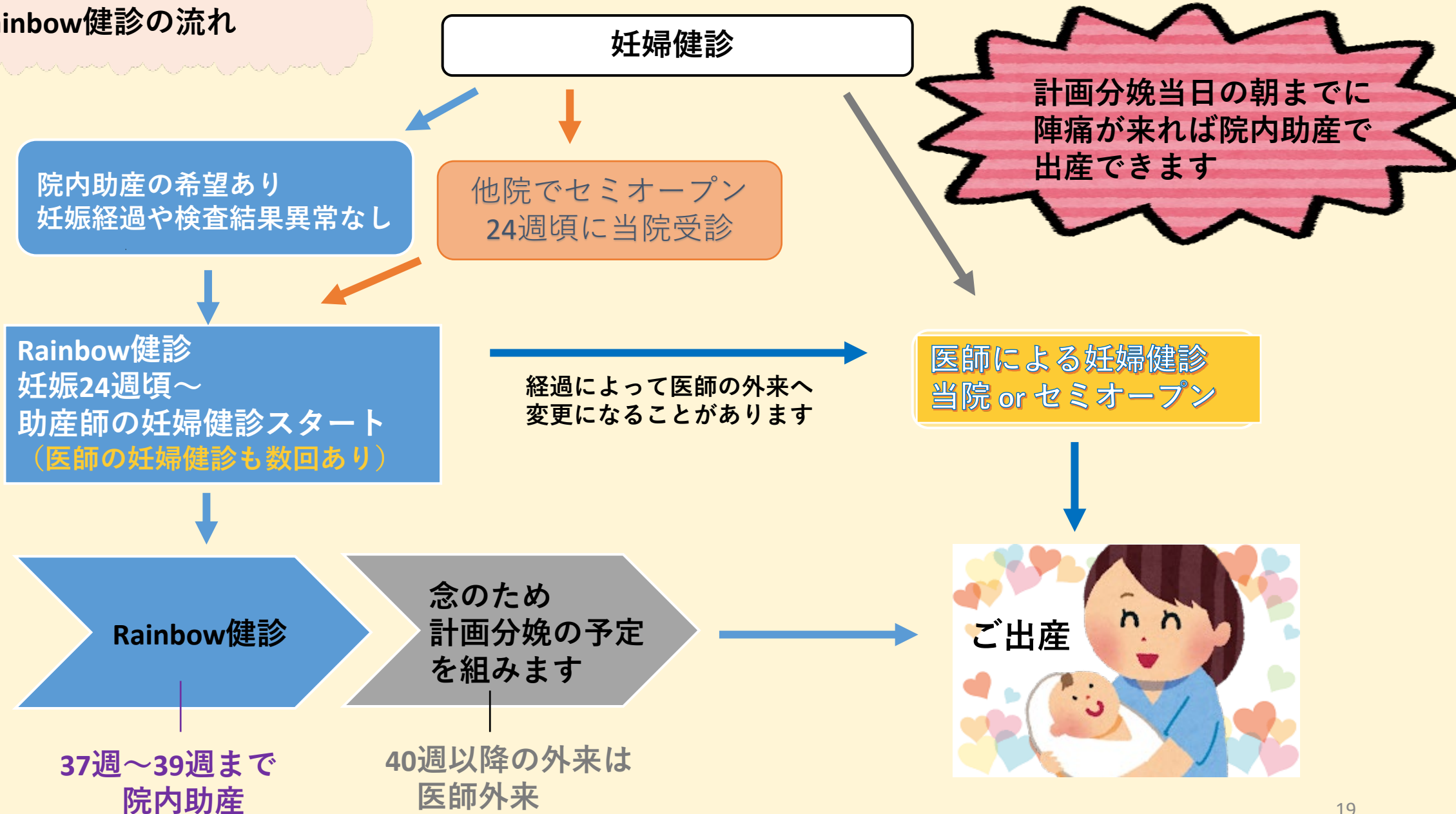


Q 初めての妊娠で不安です。先生にみてほしいです・・・

- A. 妊娠24週までは医師外来で妊娠経過に問題ないことを確認しています。
妊娠24週以降は助産師外来で助産師による妊婦健診を行っています。
それ以降も妊娠30週、35週、40週以降は医師外来で健診を行います。

妊娠経過に何か問題がある場合は医師と相談しながら、
院内助産で継続しても大丈夫なのか、医師の外来で経過をみていった
方がいいのかその都度相談しながら行っていますので安心してください。

Rainbow健診の流れ



【よくあるご質問】

＜会陰切開と裂傷(お傷)について＞

会陰切開は制限外の医療行為になるため、助産師は行いません。

基本会陰切開は行いませんが、会陰切開が必要と助産師が判断した場合に医師に依頼し会陰切開をします。表面の軽いお傷で出血がないものは、縫合は行わず経過をみていきます。縫合が必要と判断される場合は、医師に依頼します。

＜薬剤の使用について＞

分娩時、点滴や薬剤は使用しません。

必要と判断された場合は、医師の指示のもと点滴及び薬剤を使用します

＜医師の立ち会い分娩への移行について＞

分娩経過中や産後に医師の対応が必要な場合には、助産師が医師に診察を依頼します。

状況から医師立ち会いのもとで分娩(帝王切開も含む)が必要と判断された場合は、医師が分娩に立ち会います。

その場合、助産師から説明を行った後に、医師からも説明を行います。

Q&A



Q. 会陰切開はしなくて大丈夫ですか？

A. 結論からいうと、会陰切開をしなくても赤ちゃんは生まれます。会陰は約5倍まで伸びると言われています。会陰が裂けてしまうことを会陰裂傷と言いますが、軽度の会陰裂傷であれば傷の治りは早く、会陰切開をするより、痛みは最小限で産後の回復もスムーズです。

院内助産では、ママの陣痛に合わせて、パパにもマッサージや安楽な体勢のお手伝いをしてもらいながら、ママができるだけリラックスしてからだの筋肉の緊張をほぐすことで、会陰の伸びもよくなります。出産時の会陰は、赤ちゃんの頭に少しずつ押し広げられながら、ゆっくり伸びていくことで傷も最小限にできます。



院内助産を利用された方に聞いてみました！！



妊婦健診の度にその時の体調や聞きたいことなどを丁寧に聞いてくださって、毎回リラックスして健診を受けることができました。先生と交互の健診や何かあった時などの連携体制があるので不安はなく、院内助産を選んでよかったです。

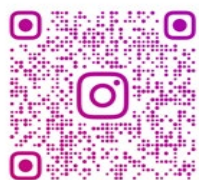
完全予約制で
待ち時間ない
のがうれしい

家族みんな（夫と3才の娘）で赤ちゃんの誕生の瞬間を迎えることができました。担当助産師さんが状況を説明してくれて常に安心して陣痛をのりこえ出産できとても幸せな時間でした

アットホーム
な雰囲気で
とっても安心
できた

妊娠初期から、出産・産後、そしていつまでも
お母さんと赤ちゃん、その家族をずっと支えたい
安心できる医療環境の中で、ご家族に囲まれながら
アットホームな出産をしませんか？

★院内助産についてのInstagramと紹介動画です。
(音声が出ます)ご覧ください。



TOBU_RAINBOW



(紹介動画・You Tube)